

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

12月31日現在	(前月比)
総人口 25,567人	(18人増)
男 12,533人	(12人増)
女 13,034人	(6人増)
世帯数 7,091世帯	(11世帯増)

◆編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係



№.426

55・2・15

寒気の中で熱戦を展開

「冬の健康づくりと住民相互の連帯を図る」を、テーマに、第18回町民スキー大会は、2月3日町営薬師山スキー場に、各地区からの選手・役員・応援団などおよそ3千人が参加。真冬日の中で盛大に行われました。(関連記事7面に)

住居表示で公聴会開く

公述人から活発な意見

＝15日開会の町議会で結論＝



住居表示に関する公聴会

十二月定例町議会で、住居表示特別委員会に付託されていた「町の区域および名称の変更について」の公聴会が、一月二十八と二十九の両日役場で開かれ、二十八日は町名変更請求の異議申立ての出ている利害関係者六人、二十九日は学識経験者三人による公述が行われ、それぞれの立場から意見を述べましたが、同委員会では公聴会での意見を参考に審議。二月十五日から開会される町議会で、結論を出すことになりました。

一月二十八日の公聴会は、公示案に対して変更請求の異議申立ての出ている。第三街区の「西横町」を「米代町」に、第四街区の「仲新町」を「住吉町」に、第七街区の「寿町」を「花園町」に、の三街区についてそれぞれの利害関係者六人が公述を行いました。意見を述べたのは、第三街区では、原案に反対「米代町」を主張

する三ヶ田吉治さん(大町・会社員、62)と、「西横町」に賛成の相馬多美雄さん(西横町・公務員、53)。第四街区は「住吉町」を主張する佐藤子之助さん(住吉町・商業、68)と、原案の「仲新町」に賛成の長崎吉治さん(栄町・商業、65)。第七街区は「花園町」を主張する伊藤道昭さん(花園町・商業、34)と、原案の「寿町」に賛成の千葉文吉さん(西旭町・公務員、44)が意見を述べました。

六人の公述人は、それぞれの立場から▽歴史的にみても妥当な町名である▽単に古い町名にこだわる必要はない▽住居表示法にも古い町名を残すようにとある▽住民投票による結果である▽アンケートの取り方が不明朗であった▽街区住

民の意志を審議会は無視して答申した——などを主張しました。このあと、特別委員との質疑では、最初に村上良治委員長が▽あなたらの街区で、さらに時間をかけて協議すれば、いまの町名にこだわらず統一した町名が出ると思っか——との質問のあと、各委員からそれぞれ問いがだされましたが、各公述人は、各町内とも十分とはいえないまでも話し合いを持ったので、これ以上話し合いを続ける必要はないと思う——、このあとは議会の決定に従う——、という意見が大勢を占めました。

二十九日は、引き続き学識経験者の二階堂善三さん(西旭町・無職、75)佐藤勉さん(西住吉町・旅館業、48)大川利一さん(仲町・無職、76)の三人が意見を述べました。

三氏は、住居表示の必要性和強力な推進を述べるとともに、問題点として▽街区の範囲が広いので町名に検討の余地がある▽街区割の線引に一考を要する▽町名の決定に住民の意見が十分尊重されていない面もある——などの意見と、審議会で長期間にわたり十分審議が行われたので、いたずらに審議を延ばすことなく早期に決めるのが妥当であるとの意見がだされました。

なお、住居表示特別委員会では、公聴会で出された意見を参考にしながら審議を重ね、二月十五日から開会の町議会で、委員会の審議結果を報告、結論を出すことにしております。

町長 日誌	
16日	都市計画審議会
16日	財産区連絡協議会
17日	地域ぐるみ米消費拡大特別対策会議
18日	千畑村千屋財産区来町水田利用再編対策協議会
18日	青山荘誕生会
19日	鷹巣阿仁部の医療を考え集い
23日	北秋田郡連合婦人会鷹巣ブロック研究会
24日	新年度予算査定 鷹巣阿仁広域圏組合管理委員会
25日	七座簡易水道竣工式 新年度予算査定
26日	むし歯のない子の表彰式 新年度予算査定
28・29日	住居表示公聴会
29日	内外情勢調査会
30・31日	新年度予算について 議会各会派との話し合い 新年度予算査定
31日	議会 日誌
1月16日～1月31日	
16・17日	住居表示特別委員会 視察 能代市、秋田市
19日	交通対策特別委員会
21日	郡議長会知事との懇談会
25日	住居表示特別委員会
26日	山形県遊佐町議員視察
26日	議会運営委員会
28・29日	住居表示公聴会
30・31日	議会各派新年度予算について町長と話し合い

申告日程表

日時	会場	申告時間	
		午前9時～正午	午後1時～午後4時
15金	田中会館	田中	新田中・南田中
16土	二本杉会館	岩谷・二本杉	
	蟹沢会館	蟹沢	
18月	栄生活センター	李岱・大沢・田沢・岩坂	摩当
19火	舟場会館	舟場	舟場
	堂ヶ岱会館	堂ヶ岱	堂ヶ岱
20水	綴子公民館	大堤	綴子上町
21木	綴子公民館	綴子下町	綴子下町
22金	糠沢会館	向黒沢・糠沢	糠沢
23土	大畑会館	大畑	
	前野会館	前野団地・昭和	
25月	小田会館	小田・田子ヶ沢・松原	
26火	今泉センター	今泉	今泉
27水	前山会館	前山	前山
28木	坊沢公民館	深関・相善町	相善町
	坊沢公民館	黒沢・坊沢上町	坊沢上町・羽立
29金	役場大会議室	営業者(白色申告者)及資産税関係納税相談 午前9時30分～午後3時(税務署担当)	
	中屋敷会館	中屋敷	
3・1土	坊山会館	四渡・坊山・湯ノ岱	
3月	坊沢公民館	坊沢大町・新屋敷町	新屋敷町・街道町
4火	沢口農協	藤株・小摩当	脇神・上野
5水	小森会館	小森	小森

(3月6日以降の日程は、3月1日号に)

＝申告相談は指定日に＝

あなたの声を
お待ちしております

町長への手紙

公聴活動の一環として、二月十五日から四月十五日まで「町長への手紙」を行います。
町長への手紙は、みなさんの意見や要望を町政に反映させ、住民参加の町政をすすめるため、毎年この期間に行っているもので、大

きな成果をあげています。昨年は、七十四通の手紙があり、項目別では九十一件で、内訳は、建設課関係三十七件、保健衛生課関係二十七件、以下、総務教育、町民課、水道、その他の順でした。みなさんからいただいた手紙は、

それぞれ検討の上、町政に反映させていくとともに、質問や苦情等については、個人ごとに回答を行うほか、住民の多くの人に関係があると思われることについては、広報に掲載、回答を行います。
手紙の用紙は、本紙十一、十二ページを利用して刷り込み(水色)しておりますので、点線にそって切りぬき、切手をはらないでお近くの郵便ポストにお入れください。なお、刷り込みの「町長への手紙」は、四月十五日差し出しまで切手は不用ですので、どしどしお寄せください。

歳時記

4年に1度のうるう年

2月29日の平年の気温とは？

ことしは四年に一度のうるう年。現在わたしたちが使っている暦では、一年に三百六十五日とされていますが、実際に地球が太陽の周りを一周するには三百六十五・二四二一九四日かかります。ということは一周年に約〇・二五日、時間にして約六時間の差ができます。
この年間「〇・二五日」は四年で約「一日」になり、その誤差を修正するため四年に一度、二月を一日増やし、その年をうるう年、二月二十九日をうるうの日と呼んでいます。うるう年にはオリンピックとアメリカ大統領選挙。当町では町議会議員選挙があり、今年がその年に当たるわけです。

ところで天気予報の話になりますが、その日の気温は「平年に比べて」高いとか低いといった基準で発表されますが、さて、うるう年の二月二十九日の場合はどうなるのでしょうか。うるう年の平年の値とは？、三月一日の平年の気温をベースとしているのではないかとお考えになる方もおられるかもしれません。が、残念ながら違います。
普通、平年の気温とは、三十二年間の同じ日の同じ時刻の気温を平均したものです。しかしうるう日の二月二十九日の場合は同じ日が四年に一度しかないのです。仮に普通の日と同じ方法ではじき出すとなると、百二十年前の気温まで使わなければ平年の気温が出てきません。
そこで二月二十九日は前後何日かの気温を参考にして、統計的な操作で前後とあまり不連続にならないように計算されています。ですから決して三月一日の気温を二月二十九日に振り替えてはなりません。といえ、むしろ逆に、うるう年の誕生日を三月一日に祝うケースはあるようです。



水田利用再編対策への

ご理解とご協力を

秋田県知事 佐々木喜久治



県民の皆様、日頃県政の推進にあたっては、格別のご協力を賜わり、厚くお礼申しあげます。

さて、水田利用再編対策については、一昨年来農家をはじめ関係の皆様のご協力を得ながら、目標を上回る実績を挙げてまいりましたが、米の過剰はますます厳しくなっていることから、国においては、止むを得ない緊急の特別措置

として、昭和五十五年度の米の需給計画を改訂し、転作年目標面積を更に増大しました。

本県としては、国が定めた一、三年間固定という原則のもとに、農家の皆様のご理解とご協力を得ながら、これに取り組んでまいりました。したがってこの原則を変更することは、農家の皆様とのこうした信頼関係を損うことになる

と考え、市町村、農業団体ともども三年間固定の原則を貫くよう国に強く要望してきました。しかし、これが受け入れられなかったことは誠に残念でなりません。これまで協力していただいた農家をはじめ関係の皆様に対し本当に申し訳

ことにしました。

なお、年表に疑問やお気づきの点がありましたら、総務課広報係にご連絡ください。

毎月23日は

ふみの日です

厳しい寒さの中では、なおさら人の心の温かさが感じられます。寒中見舞いの便りで、お互いの絆をより確かになりたいものです。

なく存じております。この問題にどう対処するかについては、市町村、農業団体等のご意見を十分うけたまわる一方、市長会、町村会、農業団体等の代表で構成している秋田県水田利用再編対策推進本部委員会にもはかりあらゆる角度から慎重に検討を重ねました。その結果、米作農業の基本である食糧制度を守るため、米産県なるがゆえにこれに対応せざるを得ないとの判断に立つためであります。今後は国に対して、食糧需給の長期見通しとこれをふまえた農業の基本政策の早期確立を要望するとともに、県としても、排水改良転作物物の技術指導や価格流通対策等転作条件を整備するための施策については、さらに一層努力してまいりたいと存じております。どうか農家をはじめ関係のみなさまには、この間の事情をご理解いただき、水田利用再編対策にご協力賜わるようお願いいたします。

*年賀状を出せなかつた方へ、または年賀状では十分言い伝えられなかつた方へ

*受験勉強に励んでいる方やそのご家族へ

*遠く離れた出かせぎ先の親類や知人へ

あなたの一通が、きつとすばらしい春を呼ぶことと思います。

—お便りで、こころのふれあいを 毎月二十三日は「ふみの日」です—

郷土史年表

①

代	奈良時	代	白鳳時代	飛鳥時代	西暦	年号	事項
八〇四	七四五	七三三	七二四	六六〇	六四五	大化元	はじめて大化の年号を定める。阿部比羅夫エゾ征伐(第一回目)百八十隻の大船団をしたがえ、鱒田淳代(アキタノシロ)のエゾを討ち、肉入籠(ススリコ)綴子)に入り、矢立峠を経て津軽に入る。この時七座天神を祀る。阿部比羅夫、二回目のエゾ征伐、シリベシ(大館ならん)を政所とし、郡領を置いて帰る(三月)。
延暦二	七九四	七四三	神龜五	七〇八	六五八	大化四	同第三回目のエゾ征伐。出羽郡を定めた。出羽の柵をつくる。和銅銭をつくる。
延暦三	七七五	七三〇	神龜元	七二	六四九	斉明五	出羽国をおいた。羽後国に七郡あり(雄勝・由利・平刈 豊島・山元・秋田・檜山)
延暦四	七四五	七二八	神龜五	七二	六四〇	斉明六	陸奥国多賀城をつくる。
延暦五	七四五	七二八	神龜五	七二	六四〇	斉明六	行基菩薩、一本三体の阿弥陀三尊を刻み、小豆沢、独鈷、別所(長牛)に九間四面のお堂を建て大日堂を祀る。
延暦六	七四五	七二八	神龜五	七二	六四〇	斉明六	十二月に出羽柵を秋田清水丘に移す。壱田の私有を認める。
延暦七	七四五	七二八	神龜五	七二	六四〇	斉明六	出羽柵が秋田城となる。国府を秋田に移す。
延暦八	七四五	七二八	神龜五	七二	六四〇	斉明六	国府を河辺に移す。
延暦九	七四五	七二八	神龜五	七二	六四〇	斉明六	坂上田村麿がエゾ討伐の際、七座天神に社領五十石を寄進す。
延暦十	七四五	七二八	神龜五	七二	六四〇	斉明六	坂上田村麿、征夷大將軍となり、秋田城の制を廢し秋田郡を置く。



むし歯のない 元気な子

3 歳 児 36人を表彰

昭和五十四年度三歳児「むし歯のない子」の表彰式が、一月二十五日午後一時三十分から役場で行われ、該当者三百四十七人のなかから男二十二名、女十四名、計三十六人が表彰され、出川町長から子どもたち一人一人に賞状と賞品を贈りました。

今回の対象者は、昭和五十一年一月一日から十二月三十一日まで出生した三百四十七人。昨年の第一次検査では六十五人のむし歯のない子がいましたが、一月十六日に行った第二次検査では二十九人が罹患、三十六人が表彰を受けたものです。

表彰式で、検診に当たった佐藤正孝医師は、歯は健康の第一歩であるので▽食物が歯に付着しないように食後のうがいや歯みがきをする▽糖分を制限する▽偏食のないバランスのとれた食事をすること▽むし歯になったら早く治療する▽むし歯は伝染病でないの自分自身が気をつける……などを述べました。

また、表彰者の母親を代表して莊美保子さんが「子どもたちが心身とも

に健やかに成長するよう努めます」と、謝辞を述べて式を終わりました。

表彰者は次のとおりです。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|--------|-------|--------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|-------|--------|---------|---------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 丹熊田 | 三上 | 齊藤 | 成田 | 佐藤 | 三沢 | 齊藤 | 米沢 | 池田 | 千葉 | 中島 | 一関 | 佐藤 | 山田 | 神成 | 藤内 | 本間 | 出川 | 亀山 | 熊谷 | 日景 | 花下 | 茂内 | 宮川 | 佐藤 | 山田 | 小畑 | 島山 | 成田 | 村上 | 津谷 | 三沢 | 莊 | |
| 律子(信夫) | 聖子(進) | 純平(昭治) | 誠(昭治) | 貴子(浩信) | 美幸(富美雄) | 美香(富美雄) | 昇平(利雄) | 智仁(幸一) | 道也(道夫) | 佳登(忠男) | 香織(敏寛) | 進也(威徳) | 裕一(喜代治) | 祥(清信) | 文幸(文夫) | 達秀(一二美) | 直子(正一郎) | 明子(勝正) | 徹(幸夫) | 直子(長司) | 崇善(勝徳) | 裕(信夫) | 博哉(忠幸) | 春美(博美) | 早苗(正孝) | 浩之(俊夫) | 崇明(明雄) | 浩二(義征) | 清子(博生) | 桃子(久昭) | 尚志(栄司) | 諭司(秀夫) | 拓也(憲二) |
| 長女 | 長女 | 長男 | 二男 | 長女 | 長女 | 長女 | 長男 | 長男 | 二男 | 長男 | 長男 | 長男 | 二男 | 長男 | 三男 | 長女 | 長女 | 長男 | 長男 | 長女 | 長男 | 長男 | 長男 | 長女 | 長男 | 長男 | 長男 | 長男 | 長女 | 長男 | 長男 | 長男 | 長男 |
| 今泉 | 前山 | 黒沢 | 三吉町 | 伊勢町 | 大堤 | 太田 | 掛泥 | 糠沢 | 東横町 | 七日市 | 栄町 | 南鷹巣 | 舟場 | 小森 | 今泉 | 南鷹巣 | 糠沢 | 前山 | 七日市 | 南鷹巣 | 幸町 | 七日市 | 七日市 | 黒沢 | 新松葉町 | 東旭町 | 仲町 | 南鷹巣 | 大町 | 掛泥 | 大野尻 | 田中 | 駅前 |

室町時代	南北朝	鎌倉時代	平	安	時	代
一四九三	一三五七	一一三〇	一一九二	一一八九	一〇六九	(八〇六)
一四九三	一三五七	一一三〇	一一九二	一一八九	一〇六九	八〇九
明応	正平	元亨	弘長	文治	延之	大同
八	二	二	二	五	元	二

現鷹巣中学校敷地内から埋蔵家屋発見「くるみ館遺跡」という。これは平安中期の政所らしいといわれる。

奥羽地方の地震・火山噴火し、このため大滝温泉湧く。

秋田城司良峰近、課税多く民夷を苦しめる。このため、比内など十二村のエゾ反乱、秋田城を焼く。元慶の乱がこれである。当時、鷹巣盆地阿仁地方を、榎淵(スギブツ)と称し、はじめて正史にのる。

治暦、延久(一〇六五―七三)年間、綴子の支郷 知子内(チコナイ)村は、「柵養」(キカフ)の集落として切り開きを伝える。(註)米代川右岸にあったが川欠けのため絶村となる。

藤原泰平、源義経を殺し、出羽国比内二井田で家臣河田次郎行文のために殺される。

この頃比内、榎淵と合せて比内郡を置く。

このころ浅利氏は比内の地頭となる。七日市の羽立村は、寛永六年から四百年前にあったという。

この年以前、武内氏初代常寛院元瑞綴子八幡宮を再興、秘伝書九卷所蔵す。内館文庫創設し、大太鼓祭行事始まる。

この頃、七日市村草創

この頃、根木屋敷村草創

武内元享、この頃より七座天神宮、綴子八幡宮の別当職となる。

高橋光秀、南部一関から来て、綴子刑部借に住す。

佐藤但馬、綴子北館に来る。

綴子宝勝寺開基

坊沢 成家元祖 藤原朝臣義慧歿す。

(次号に続く)

ようこそ スザンナさん



ロータリークラブの招きで 豪州から鷹農へ留学

鷹農ロータリークラブ(成田慎一会長)の招きで、オーストラリアからの交換留学生スザンナ・ブラット・パーリーさん(17)が、一月二十一日に来町、一年間鷹農農林高校に留学、勉学に励むとともに、国際親善の役割も果たすことになりました。

スザンナさんは、オーストラリアの首都メルボルンから約二百*ほど離れた、ビクトリア州マックラーという人口八千人の町からの来日で、家族は、土地測量士のお父さんとお母さん、ハイスクール三年の弟と四大家族。一月二十二日、スザンナさんはロータリークラブ員と出川町長を訪ね、「一年間、鷹農町民としてよろしく願います...」とあいさつ。日本の印象として、東京

は都会なのに紙がずや落書きもなく清潔だ。列車の中からみた沿線の雪がとても多かった——などを述べ、来日前、二週間ほど日本語の特訓をしてきたというだけに、アリガトウ——などの単語もでるなど、来日早々寒気にさらされながらも終始にこやかに歓談、日本での生活に早くなれるようと努力しているようでした。スザンナさんを引き受ける鷹農農林高校では、女性の多い農業科一年に席を置きながら、英語、体育、音楽、数学などを主体に、クラブ活動にも積極的に参加させるなど、日本でなければ体験できないことを勉強させたい、と話しています。なお、スザンナさんは、ロータリークラブの城島潔人さん宅に二

カ月間宿泊、その後二カ月ごとにクラブ員宅の家庭に宿泊しながら日本の風俗や習慣を膚で勉強、日豪間の親善と相互理解に大きな役割を果たすことになりました。

「広域合川球場使 用申し込み受付」

広域合川球場では、野球シーズンにそなえ二月一日から受付を開始しています。使用ご希望の方は、早めに合川高校事務局球場係(電話 合川三一七七八)へ申し込みください。お問い合わせも同係へ。

▽使用期間 四月二十日〜十月三十一日 午前五時〜午後九時

▽使用料金(一時間当たり) グランドⅡ児童・生徒三百円、一般千円 照明Ⅱ五千五百円

スコアボードⅡ七百円 放送Ⅱ七百円

「進学ローン 所得制限緩和」

国民金融公庫では、一月から今春、高校、専門学校、短大、大学等に進学する家庭を対象に、「国の進学ローン」を取り扱っています。その借入資格の一つである父兄の収入(所得)制限が、一月二十一日から緩和されています。

▽給与所得者Ⅱ五百万円〜五百三十万円 ▽事業者Ⅱ三百五十五万円〜三百八十万円。融資額は、一世帯当たり五十万円。

くわしくは、国民金融公庫大館支店(電話 大館四二一三四〇七)



図書館だより

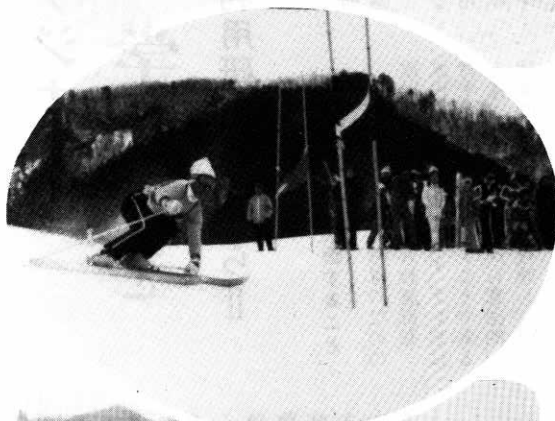
成田富治郎氏 図書寄贈

舟見町出身、前第一勧業銀行取締役、現日産農林工業社長・成田富治郎さん(東京都在住)より、蔵書の一部百冊を寄贈されました。

成田さんは、昭和四十三年から数回にわたり、経済学・法学の専門書から文学全集などを寄贈されその数は現在まで、一千九百三十九冊に及んでいます。この度はまた左記のように随筆集など気楽なものが多く、成田氏の幅広い読書生活が伺われます。

図書目録

- 法律学全集(有斐閣)強制執行法・労働組合法 ○サムエルソン「経済学」上巻・下巻 ○近代経済学二十一の俗説 ○日本経済の奇跡は終わった。
- 東洋学の創始者達 ○旅のアラベスク ○黄昏のロンドン
- 酒について ○不思議の国ニッポン ○続不思議の国ニッポン ○遠ざかるノートルダム ○今日は明日の前の日 ○ちよつといい話 ○甘い国から来た男 ○勉縮のすすめ ○考えるヒント ○天の蛇 ○ちよつとキザですが ○晩年の露伴 ○蝸牛庵訪問記 ○につばん音吉漂流記 ○追憶の橋本邦彦 ○ジャパン アズナンパーワン ○食の社会学 ○松下幸之助に学んだもの ○不確実性の時代 ○イタリヤだより ○私たちのシルクロード ○シルクロードの旅 ○北京の旅 ○花 ○厨に近く ○サンダカン八番娼館 ○サンダカンの墓 ○深代倅郎の天声人語 ○銀行の片隔から ○法隆寺を支えた本 ○父小泉信三 ○言わでもの事 ○古い手帖 ○英語事始 ○一冊の本 ○銀月・有美と周辺 ○西南戦争延岡隊戦記 ○党薩熊本隊 ○双獅庵鶏助集 ○文章読本 ○私の文章修業 ○有吉佐和子の中国レポート ○だいこんの花 ○隣の国で考えたこと ○中江藤樹 ○根本仏教とは何か ○追跡安藤昌益 ○安藤昌益入門 ○おやじの顔 ○父母恩重教を語る ○言葉の海へ ○夕暮まで ○花壇 ○戊辰落日上巻下巻 ○桐の花 ○椿の海の記 ○おろしや国酔夢譚 ○吉行淳之介短編集 ○新書版・二十九冊



好競技の連続に にぎわったゲレンデ

＝第18回町民スキー大会＝

第十八回町民スキー大会は、二月三日に開かれましたが、当日は開会式の始まる午前九時までは寒気の中、各地区から選手や応援団が続々詰めかけ、広い駐車場もまたたくまに満車となりました。

午前九時三十分、予定どおり小学校五年女子二*の距離競技から開始。終日温度が零度を越すことのない真冬日の中で各競技が行われましたが、各地区ともレベルが向上、これまでのように上位が一地区にかたよることのない好競技に、観衆から盛んな声援が送られていました。

なお、各競技で、三位まで入賞のものも多かったのは、沢口地区の二十二、以下七座十八、坊沢十四、綴子十二、鷹巣十、栄、七日市各八の順でした。



相馬さんに献血 功労で銀色有功章



四日、役場応接室で出川町長から伝達されました。

相馬さんは、昭和四十二年に献血を始め、昨年の五十四年六月に三十回目の献血を行ったものです。

「歩くスキーの集い」 二十四日大野台で

積雪地における冬季野外活動として、歩くスキーの普及がめざましくなっています。本県でもこの歩くスキーの正しい理論と実技の普及を図るため、県教育委員会と秋田フィンランド協会が主催して、二月二十四日午前十時三十分から、大野台ハイランドハウスで「歩くスキー」の講習会が開かれます。

当日は、午前十時開講式のあと、正午まで、小学生は歩くスキーの基本実技、中学、高校、一般は講義。午後一時から二時三十分までは歩くスキーの実践となっています。

西横町、坊沢郵便局長相馬多美雄さん(54)は、このほど献血三十回の功労で日本赤十字社から「銀色有功章」が贈られ、去る二月

高齢者に無料で

町では、老人の健康を守るため、次により健康診査を無料で実施いたします。

対象者は、六十五歳以上(大正三年十二月三十一日までに生まれた方)で、現在定期的に通院していない方となっておりますので、通院されている方は役場町民課福祉係までご連絡ください。

▽診査日 二月十九日～二月二十二日の四日間

健康診査

▽時間 午後一時三十分から三時まで

▽診査医療機関 北秋中央病院、近藤医院、津谷医院、としま内科医院、奈良医院、藤原医院、佐藤外科医院、盛岡外科医院、戸島産婦人科医院、白田医院

※診査は、自分の都合のよい日に希望する病院(医院)で受診してください。

テレビ・ラジオで 生涯学習を

放送利用研究会から

一月二十四日、公民館に於いて第一回鷹巣町生涯教育放送利用研究会が、県教委の東北地区放送利用ゼミと、共催で開催された。日常生活と切り離すことのできなくなったテレビや、ラジオを利用して、多様化された学習要求に応じよう、というのがねらいである。

目的をもって視聴すること

体験発表、「家庭教育のための放送利用」鷹小PTA教養部長、原田雄彦さんは、「まず、テレビに對する親の姿勢を矯すことである」と述べ、三歳児の時から意図的、計画的に子供と共に視聴し、話し合ってきたことにより、小三になった現在は、天気図の見方や、親子読書日記に発展していることを話された。

そして、テレビは大変な魅力を持つているがまた、魔力も持っている。ずりずりべったりと長時間そばから離れられなくなっている。目的を持って見る番組の前後はあけて、「考える時間」としなければいけないと強調した。つぎに、「放送番組の研究と活用」妹尾館若妻学級、佐藤ちな子さんは、六人の若妻グループが、幼児教育のあり方を探るために、NHK「おかあさんの勉強室」をテープにおかみ、それをみんなで聴きながら日常のことを話し合ってきたことを紹介した。

映像と活字を並行して

話し合いの中で、テレビの普及

によって人々の活字離れが進むのではないかと、心配された一時期があったが、読書人口も増えつつあることが出された。特にテレビ番組との関連のある書籍が多く読まれていることから、映像と活字を並行して学習することが望ましく、大河ドラマ「草燃ゆる」から鎌倉時代の郷土研究に発展した雄勝町の例など紹介された。また、秋田市では、銀河テレビ小説「しあわせのとなり」から、遺産相続の法律研究講座を設けたところがあるという。

家庭教育に

「おかあさんの勉強室」を

鷹巣町の生涯教育の方向として三上社教主事から、つぎのような構成が出された。

現代の地域課題として大きくとりあげなければいけないのが「青少年問題」である。そのためにNHK教育テレビ「おかあさんの勉強室」後三・三五・四・〇五、(再)翌日総合、一一・二〇・一・五〇の家庭視聴をすすめたい。視れない人のために、ビデオをとったり、文章のまとめをとったりして要請に応ずるサービスをした。また、この番組を見ての感想や意見を交流し合う機会をつくり、面接や紙上での相談活動をすすめる、健全育成の一助とした。

その他、各種構座、学級の学習に有効なビデオを多くとり、活用できるようにし、生涯教育学習の方法に一つの転換をはかりたい。と、

部落訪問



いま 泉

国道七号線を秋田に向って走り、前山のトンネルを出ると左手に見える集落が今泉部落である。その区域は薬師山スキー場で山本郡二ツ井町と境を接している。昔、羽州街道沿いにできたこの集落の人々は、今泉川の水を引いて米代川北岸に広がる沖積層の平地を耕してきた。そして国道わきに美しく見える貯水池の完成(二百三十年以上前)で開田は大きく進んだ。享保郡邑記(一七三〇)に家三十四軒とあるが、現在は百六十四世帯となっている。

部落自治会長藤内勲さん宅を訪ね、ここの今昔を聞く。

明治以降も、人口の増加と共に耕地拡張がつけられ現在は約七十五haとなった。しかし、米代川の洪水が、度毎に運んでくる上流の尾去沢鉱山の鉱毒が耕地を汚染していた。昭和五十年に大きな堤防ができ、汚水を防ぐことができたが、今度はまた、支流の前山川、今泉川の滞水による被害が出るという新しい問題に直面している。

今は、連日大変な賑わいを見

せている薬師山スキー場だが、昭和四十年頃は草刈場で、商人が千五百万円で売ってくれと言ってきたことがあった。断つてよかった。今では部落の大きな財源になっている。おかげで老人たちの憩の家を建てることができ、毎日よく使われている。そのせいかここには健康な長寿者が多い。

町村合併前の七座村は、現在は二ツ井町になっている。麻生、下田平、天神、小繁を含む七つの部落で構成され今泉に村役場があった。

合併後、前山、黒沢、今泉は三部落の連絡協議会をつくり、共通した問題の処理や親睦の諸行事を積極的に進めてきた。昨年は上水道を引くことができたし、今工事中の、旧七座小跡に建設中の体育館ができれば三部落の自治活動は一段と良くなるであろうと、藤内さんは語っていた。

(公民館長 長崎 久)



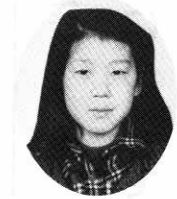
今泉老人いこいの家



私のおじいちゃんは、よくはたらく人です。
 この間、まきストープをたくと
 いて、おばあちゃんがはこんで
 きた木を、みんなおじいちゃんが
 まさかりでわかりました。今では小
 屋の回りにいっぱいつんでいるか
 ら、石油を使わないうまきストー

私のおじいちゃん

ブでくらしています。それからえ
 んとつがまつた時は、えんとつ
 そうじもします。
 私は、すごいおじいちゃんだ
 と思います。



中央小学校 3年 間島 敏

酸うすき亡母の記憶よデリシヤスの粒撰る程
 に風花が舞ふ
 私語ためて輪切しレモンいちまいの光のなか
 の光を剪りて

伊勢町 石川 ひろみ



大町奈良セツ(52)

「当院
 もかねが
 ね皆様方
 よりご要
 望のあり
 ました脳

血管センターの設立を現在計画
 中です。老人科、高血圧症、リハビ
 リテーションを中心に百床の病院
 になる予定です。―茨城県藤代
 中央病院院長清水先生(旧北秋中央

病院内科医長)
 「一人ぼっちの越年でしたが、職
 場も子会社へ出向となり気分を変
 えなんとかやっています。昨年
 のお盆には暮参もできなかったが、
 今年には是非皆さんに会いたいと思
 っています。―札幌在の同級生
 「派遣から再び大学に戻ってきた
 一年になります。そろそろお嫁さ
 んをもらおうかと思っていますが
 ……」―東京在の教え子。
 「わが家は、男三人女一人ですの
 で今年もまけて居られませんが。親
 が年をとると共に子供はなまじき
 になってきました。フアイト・フ
 アイトでがんばります。―相模原
 市在の教え子。

今年もまた楽しみの年賀状がドサ
 ツと郵便受に落ちました。
 年に一度のお便り一年賀状ですが、
 遠くに居る人、近くに居る人、
 短い年賀のあいさつの中に、一人
 一人への思いが過去から現在未来
 へとひろがって行く楽しさは、家
 に引きこもっている私にとっては
 言葉にあらわせない年の始めの幸
 福感です。
 年賀状、昔の人が習慣として私達
 に残してくれた有難さをしみじみ
 かみしめながら、一人一人の年賀
 状を何回も読みかえています。



みんなの広場



おおたかねばら

栄の鞍山風穴に生育す
 る高山植物、花はハマナ
 スによく似ている。

(南小・阿部達雄先生)

広報のしおり

健康 最近、ぶらさが
 り健康器の広告が
 よく出ていますが、日体大の塩谷
 宗雄教授は、その効用について次
 のように述べています。
 以前、全国の農村の健康指導に

歩いたとき、農村に多い腰曲り、
 腰痛、肩こりの対策として小学校
 の鉄棒にぶらさがること勧めた
 ことが始まり。この結果として、
 「腰痛の治療に通わずにすむよう
 になった」「肩がこらなくなつた」
 「楽に仕事ができるようになった」
 などの効果が出てきました。
 三十秒ほどぶらさがると、曲が

っていた背骨がまっすぐになつて
 いることがX線にかけるとわかり
 ます。これは、病院でやる牽引治
 療と同じ効果なのです。
 わざわざ器具を買うまでもあり
 ません。廊下に竹や棒を渡しただ
 けでできるからです。全身の力を
 抜いてぶらさがるのがよいのだそ
 うです。

たかのす文芸

=短歌=

米代町 菊地 みどり

童心を失ひかけし冬の灯に苺あかあかと思惟
 を乱せり
 いとしみて猫を抱く陽の春浅きわれひとりだ
 けの時間のふくらみ

前山 戸沢 イサオ

冬鳴りの津軽の海に春遠しいちまいの絵より
 潮騒にほふ
 愛しみきて青春のなかにほころびし記憶のひ
 とつがともる春の灯

東旭町 河田 きゑ

われの身に寒さ迫り来今し世の地の果といふ
 モレロの氷河
 常に死の身近き砂漠の現象を誰か名づけし「砂
 漠の薔薇」と

伊勢町 石川 ひろみ

おしらせ



一級美術家協会 九島登二氏

二月の健康相談

成人健康相談は、二十七日です。時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

妊婦健康相談は、十八日です。時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

また、今月の母親学級は、母乳栄養と妊娠中期の注意について。時間は、午前十時から十一時まで。場所は、いずれも鷹巣公民館保健相談室です。

乳児健康相談は、二十一日～五

町議会議員立候補予定者

説明会の開催について

来る三月三十一日で任期満了に伴う町議会議員一般選挙を、三月十九日に執行いたします。ついては、左記により、立候補を予定している方に、立候補の手続、選挙運動、選挙費用などについての説明会を開きますので、立候補を予定している本人、または代理人が必ず出席されるよう通知いたします。

- 一、日時 二月二十七日午後一時より
- 二、場所 鷹巣町役場三階大会議室

十四年十月生まれとなっております。受付時間は、午後零時半から一時まで。

離乳食実習指導は、二十一日～五十四年七月生まれとなっております。

受付時間は、午前九時半から十時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

※場所は、いずれも鷹巣保健所で

麻疹(はしか)の

予防接種

麻疹(はしか)の予防接種を、二月二十日から二十七日まで下記のとおり行いますので、この期間に接種を受けてください。

建設工事入札資格 審査申請書を受付

昭和五十五年度において、町で実施する建設工事の入札参加資格についての資格審査の申請を、二月十五日から三月三十一日まで受け付けます。

町内の業者で、建設業として登録を受けている方で、建設工事入札資格を希望する方は、所定の申請書に町税の納税証明書を添付のうえ、町長あて提出してください。申請用紙は、役場企画財政課で一式三百円で交付しております。

新町内協力員紹介

▽沢口地区 中屋 敷 千葉 正 治

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

- ▽芳志に深く感謝いたします。
- ▽舟見町 小平信子さんから亡夫 茂雄さんの香典返し 二〇、〇〇〇円
- ▽綴子上町 齋藤一志さんから亡父秀雄さんの香典返し 三〇、〇〇〇円
- ▽花園町 工藤竹松さんから亡母 ナミエさんの香典返し 二〇、〇〇〇円

慶弔だより

1月16日～1月31日

誕生おめでとうございます

- 河田 堅二(和利 二男) 福住町
- 久留島佳子(富義 長女) 舟見町
- 藤本絵美子(吉信 長女) 松沢
- 黒沢 亨九(英章 二男) 小森
- 鈴木 竹子(宣武 三女) 上舟木
- 戸沢 貴志(健 長男) 中岱
- 伊藤 栄梨(勝明 長女) 南鷹巣
- 工藤 みか子(進 三女) 伊勢町
- 原 依子(定利 長女) 大堤
- 原田 聖(政昭 長女) 米代町
- 照内 恵美子(喜久雄 三女) 太田
- 武田 朋子(俊雄 二女) 学校通
- 小塚 紀子(幸雄 二女) 新舟見町
- 三浦 巧(昌弘 三男) 南鷹巣

二人の前途を祝福いたします

- (金 沢 久 西目町)
- (高 橋 輝 子 綴子上町)

おくやみ申しあげます

- 石山 政太郎(61歳) 東横町
- 西村 慶蔵(75歳) 太平町
- 太田 見蒔子(37歳) 高村岱
- 高橋 芳夫(68歳) 下町
- 畠山 ヨシ(88歳) 前山
- 桜庭 久三(52歳) 蟹沢
- 花田 コト(78歳) 脇神
- 工藤 ナミエ(66歳) 花園町
- 成田 ノブ(81歳) 旭町
- 石川 多助(87歳) 伊勢町